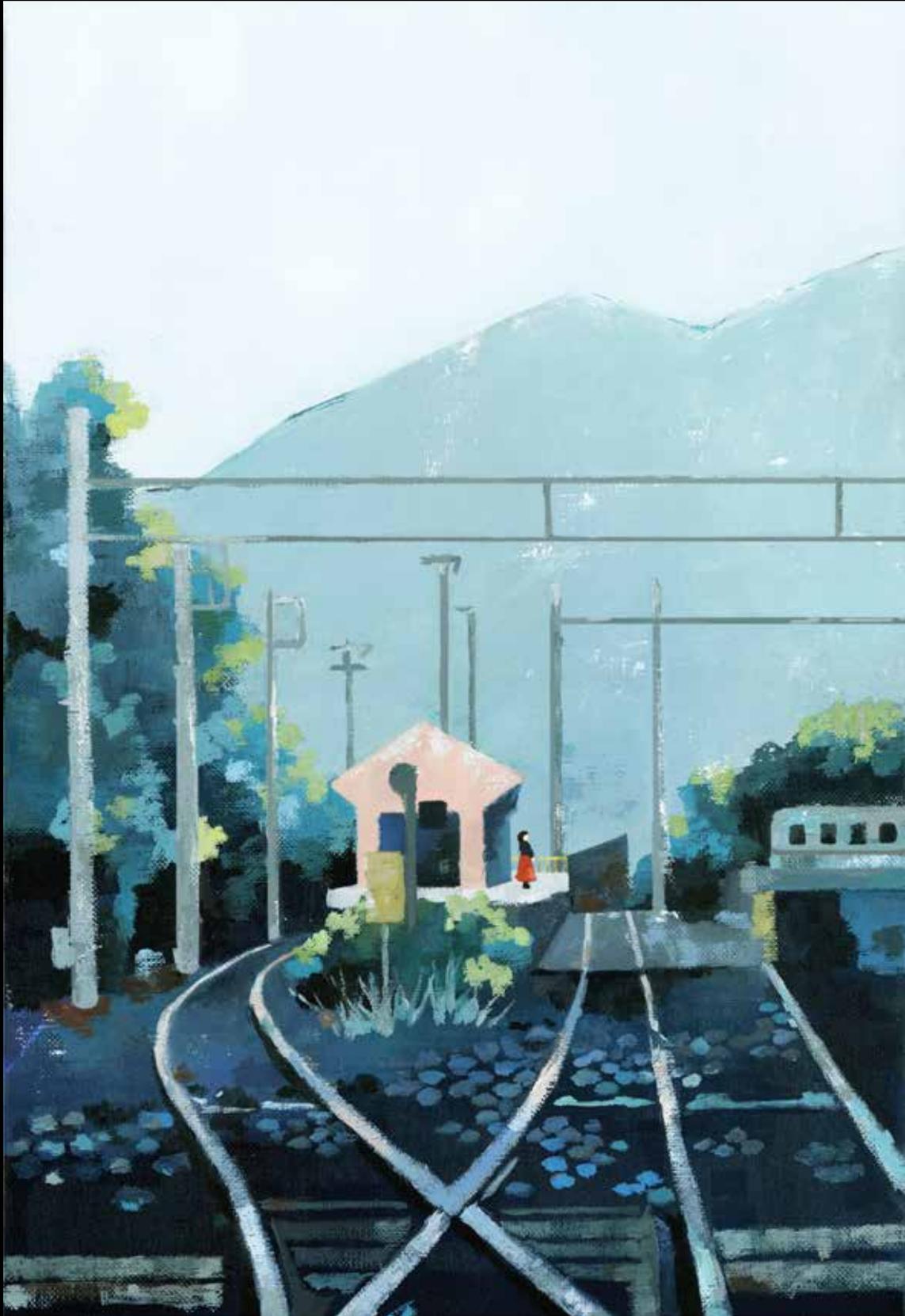


# Nae Illustration Portfolio





苗 Nae

1995年千葉県生まれ。東京都在住。  
油彩のタッチとマチエールを生かした絵柄が特徴。  
雑誌、イベント等に作品提供してます。

『ファッションイラストレーション・ファイル 2023』(玄光社)  
『Story Power of Illustration』(HIGH TONE/香港)掲載  
PALETTE CLUB SCHOOL 青山塾修了

mail [naenae3755@gmail.com](mailto:naenae3755@gmail.com)

web <http://naenae3755.whitesnow.jp>

X(Twitter), Instagram @naenae3755





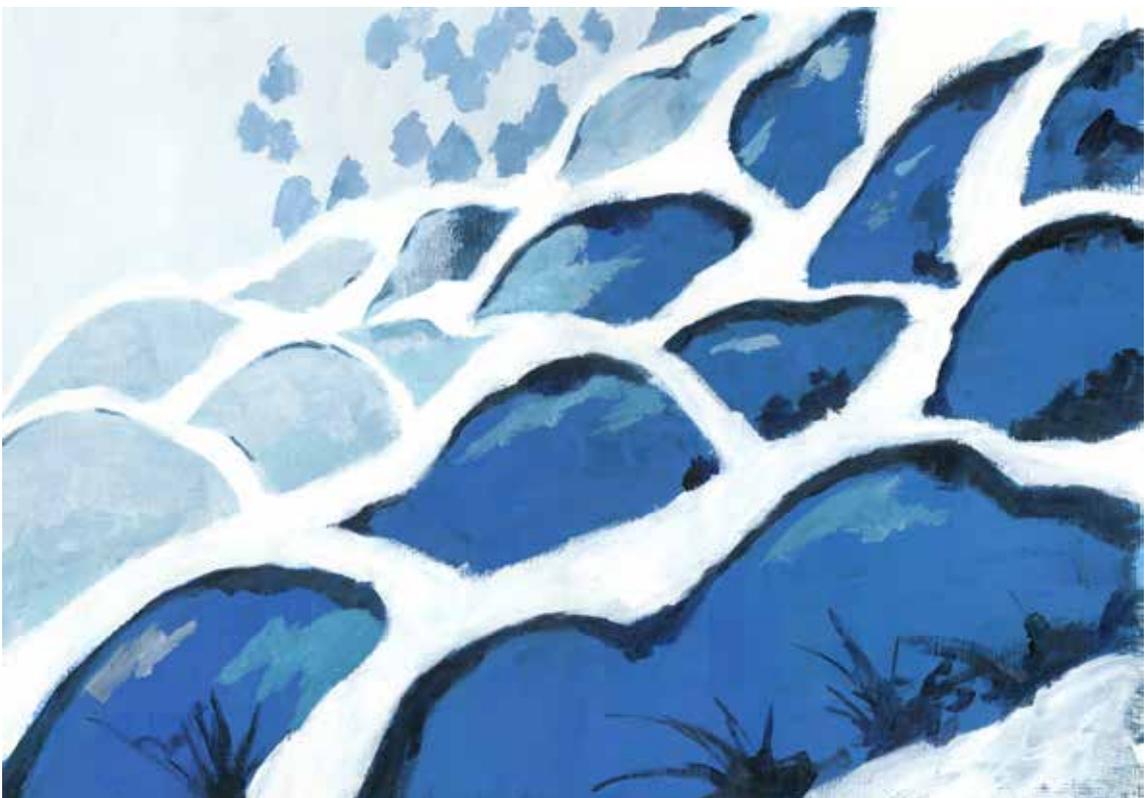
六曜社様 しなの芸術祭 和楽 2023「文芸アートパネル」提供作品



六曜社様 しなの芸術祭 和楽 2023「文芸アートパネル」提供作品



六曜社様 名古屋芸術祭 和楽 2023「文芸アートパネル」提供作品



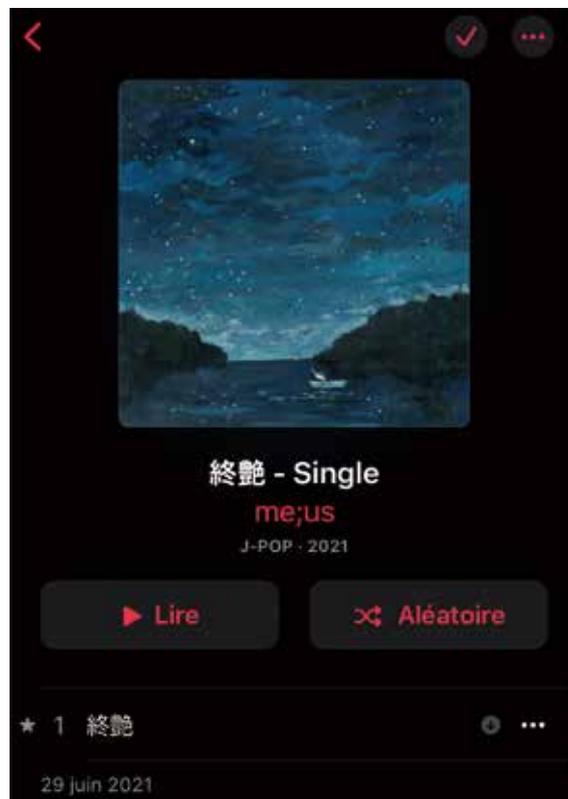
六曜社様 名古屋芸術祭 和楽 2023「文芸アートパネル」提供作品



Begin2023年11月号「サロモン入門」用イラスト

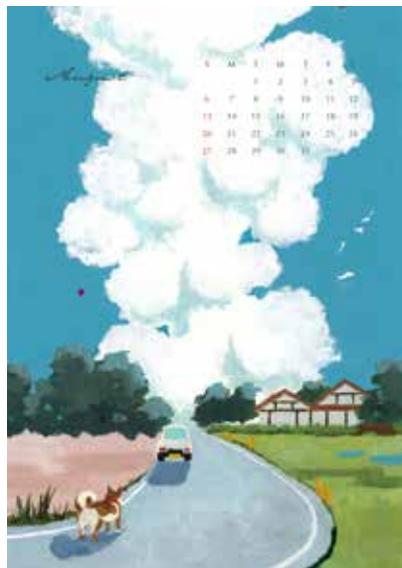


小説新潮 2022年8月号掲載 南杏子さん「空中テント」挿絵

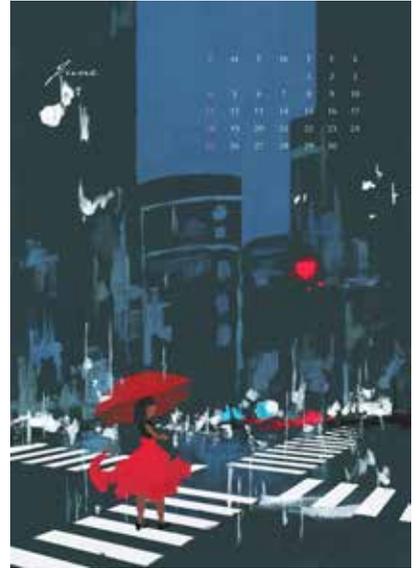


me; us 様 楽曲『終艶』用イラスト



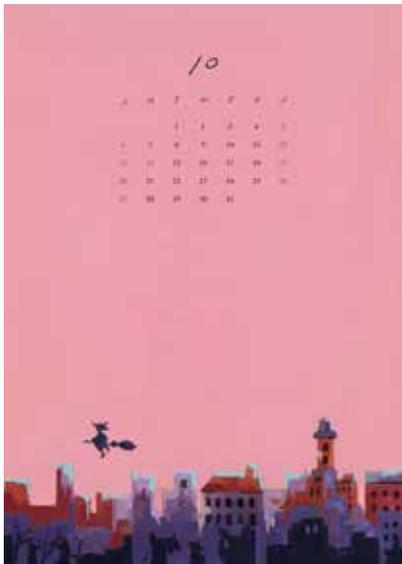


2023年カレンダー デザイン：サトウヒカルさん ([https://www.behance.net/hikaru\\_sato](https://www.behance.net/hikaru_sato))

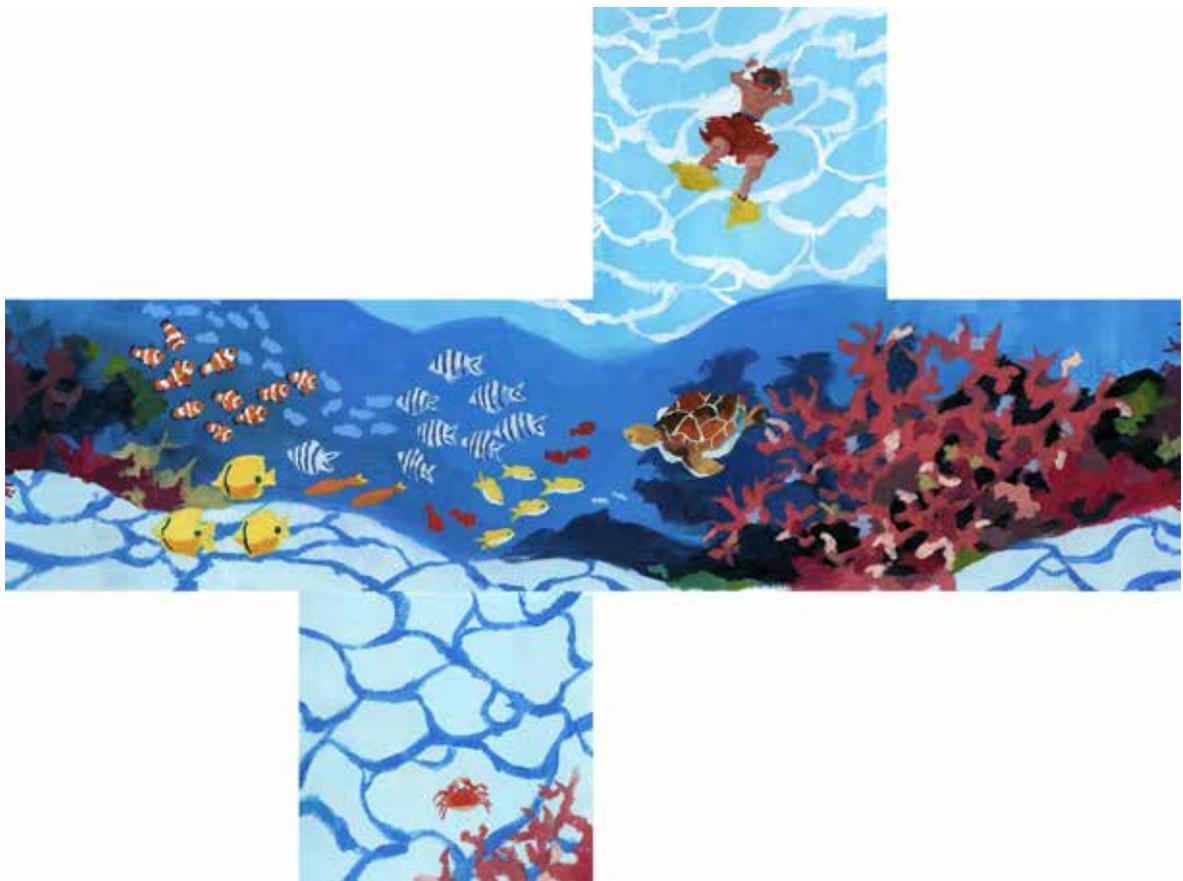


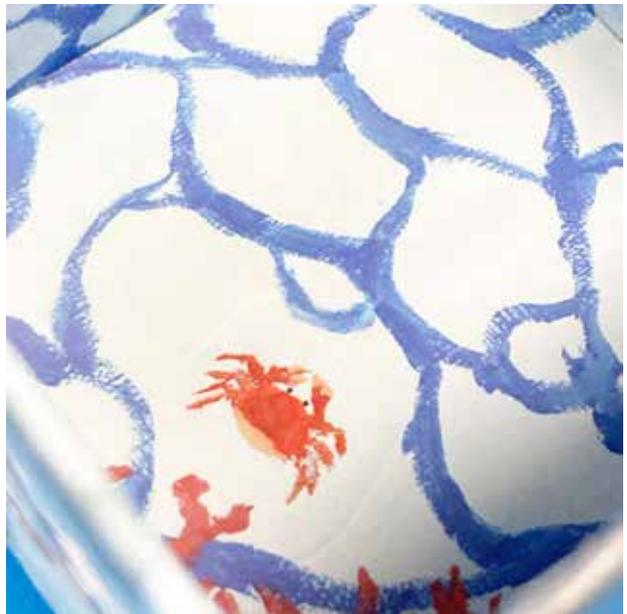
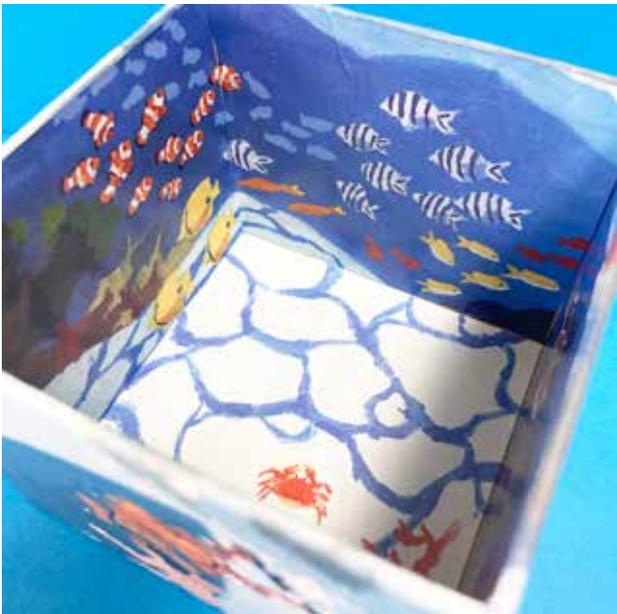


2024 年カレンダー



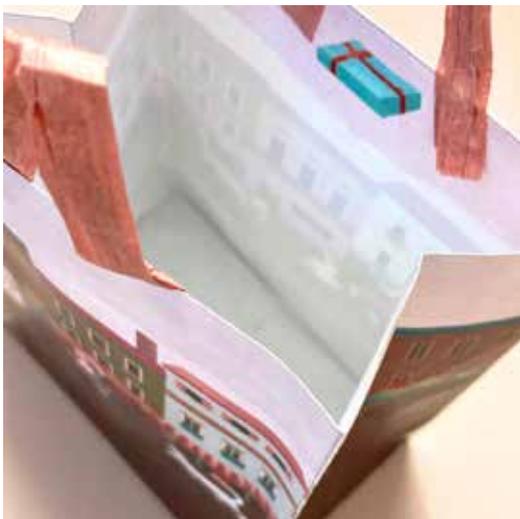






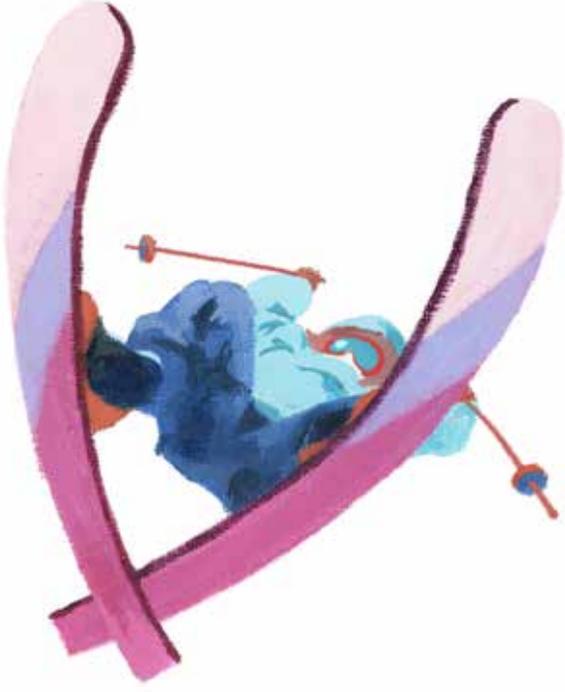




































# 制作過程

使用画材：油彩、オイルペーパー、アクリル、鉛筆、AdobePhotoshopCC



①オイルペーパーに鉛筆で軽く下書きをしてからアクリル絵の具で軽く濃淡をつけます

下塗りの色はモチーフの影の色を選ぶことが多いです。

この作品では青よりの影をつけることがわかっていたので、水色を選んでいきます。



②油彩で色をつけていきます

空や建物の壁などを大雑把に塗ってから植物などの着彩をします。

画面全体のバランスを確認しながら作業を進めたいので、全体の固有色を塗る→モチーフの影を塗る→ハイライトをいれるの順番でおおよそ進めます。

油絵具はアクリルなどと比べて乾きにくいので乾燥剤を混ぜて制作してしまうことが多いです。



③油彩で描き終わったらスキャンしてパソコンに取り込み、Photoshopで調整をしていきます。（スキャンしただけだと左の画像の状態になります）。

ごみ取り、色補正を実施したうえで、油彩では描ききれない細かい部分の描き込みもします。（人物などを別に描いていることもあるので、そのときは別途描いたモチーフを合成もします）。

あまり描きすぎるとわざとらしくなってしまう（油彩のタッチが消えてしまう）のでバランスを見ながら手を入れます。



④調整がすべて終わったら完成になります。全体的に明るく、鮮やかな仕上がりになりました。

この作品はラフ～完成まで（油彩の乾燥時間含めて）5日くらいかかりました。

# ラフ

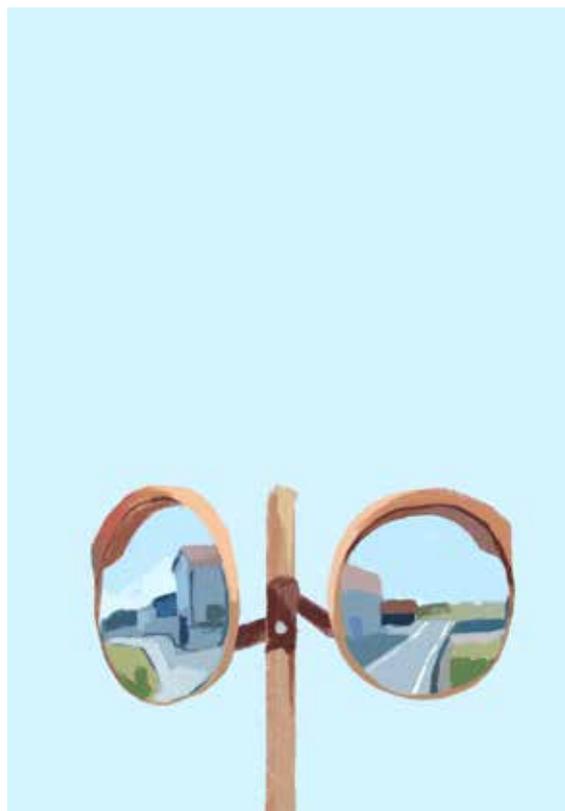
ラフは iPad (Art Studio Pro) で描いています。

お仕事でラフの提出を求められたときも、基本的にデジタル作画のデータをお送りしています。(修正が入ったり、複数回のやり取りが発生したときにも対応しやすいからです)。

油彩で描く作業が入るため、ラフそのままの色や状態で仕上げることは難しいですが、完成を想像してもらいやすいようにアナログっぽいペンツールを使用して描いています。

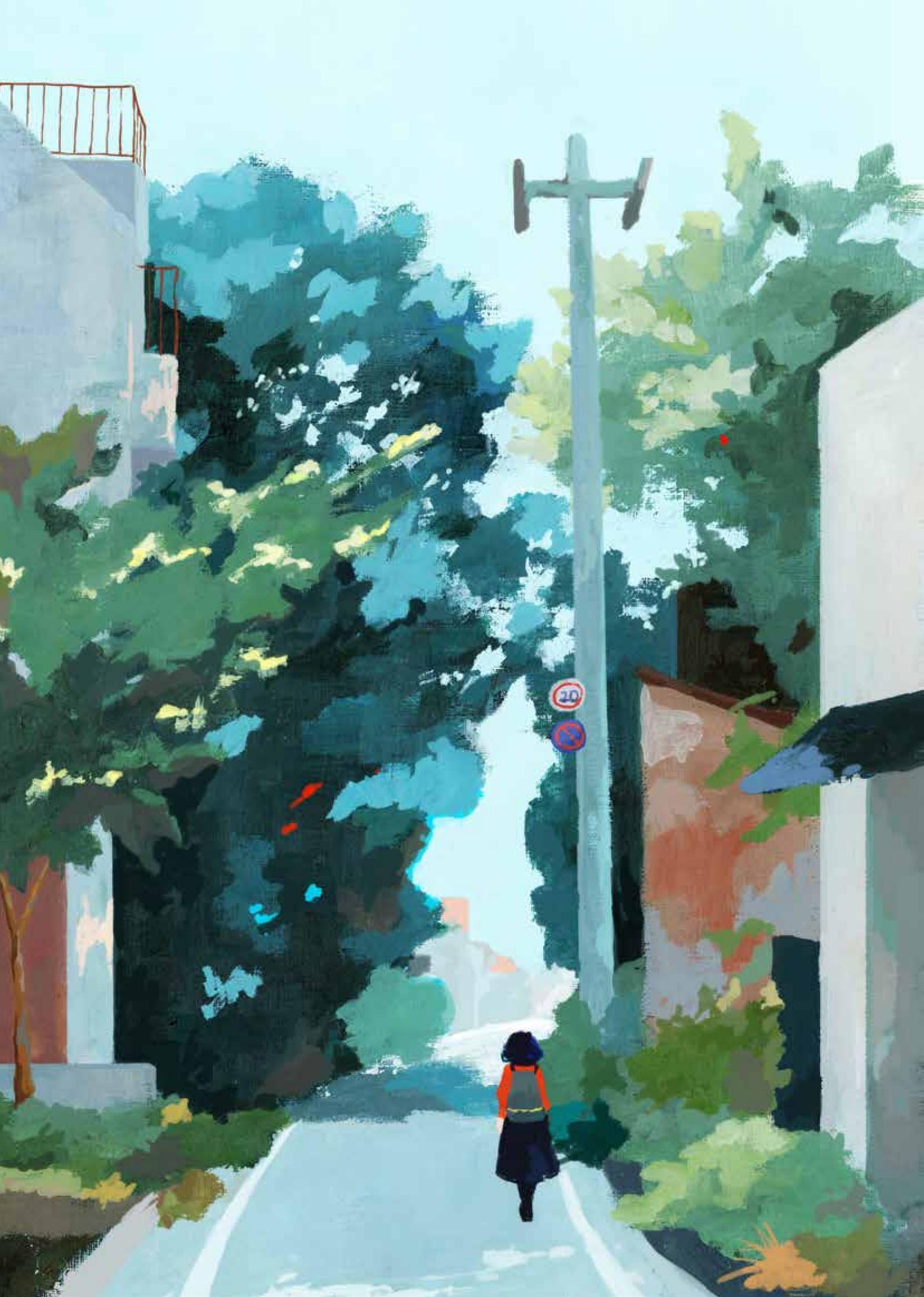
油彩や Photoshop での作業の際にも、常に iPad を横においてラフを確認しながら制作を進めています。

## ●ラフの例















BRIDGESTONE

ミヤシタ TEL22-



























